テーマ名：相撲を通しての子どもたちの気付き。

園名：江東区南砂さくら保育園

背景

・さくらでは今まで誕生会後のお楽しみとして相撲大会を開催していた。
・毎月のお楽しみとして開催していた為、相撲の技や力士の事等をあまり伝えられてなかった。
・図鑑や実際の取り組みの動画等を見る中で子どもたちが相撲の事を知れたら…と思って設定した。

2024年度実施内容のまとめ

実施②

相撲図鑑をみて技（ねこだまし）に興味を持った。
名前の由来が載ってなかった為、話し合って考えた。

実施④

今までやっていた手を横に置く方法と
手を縦に置く方法の両方を試してみる。

実施⑥

どうやったら強くなるのか子どもたちが話し合い
体感作り(四股踏み、すり足）を行なう。

子どもたちの興味

① 力士が様々な技を使って戦っている事を知る。
猫だましの名前の由来は？

③ そもそも自分たちの取り組み前の姿勢と力士の姿勢（手の置き方）が違う事に図鑑や動画を見て気付く。なんでこの手の置き方なのか？

⑤ 縦向きで置いた方が安定している事に気付く。
強くなるにはどうしたら良いのか？

環境づくり

② 図鑑を見る。→載っていない。
子どもたちが名前の由来を話し合う。

④ 子どもたちが実際に２つのパターンの手の置き方を試してみる。

⑥ 子どもたちが話し合う。
体感作り：四股踏み、すり足 等いろいろ試す。

2024年度振返り

・テーマの背景にもあげたが、今まで毎月お楽しみとして相撲大会を実施しており、相撲という競技自体は知っていた。実際に力士の取り組みの様子の動画を見せることで技の由来に興味を持ち、保育者と一緒に自分たちで図鑑を見て調べる姿があった。結果的に図鑑には載っていなかったが、話し合いの中で由来にたどり着くことが出来た。
・みらいとの取り組みでは全員が勝てたわけではなく負けた子もいて、強くなるためにはどうしたら良いのかと考えるきっかけとなった。

次年度に向けて

・実際に力士と触れ合う時間を作ったり、相撲博物館に行く時間を作ったりしながら、相撲への興味をより深めていけるようにする。
・時間が合わずに力士を呼ぶことが出来なかった為、近くの相撲部屋に見学に行き力士と触れ合う時間を作りたい。